

JAITI 46

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

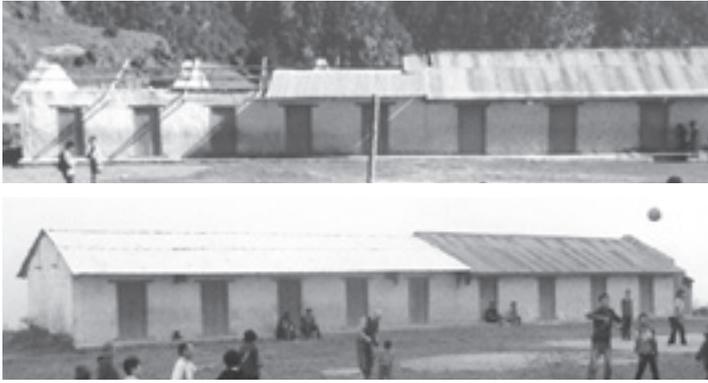
発行 公益財団法人 日本農業研修場協力団
事務所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

今日のジャイチ

ネパールも秋はお祭りのシーズンとなり、華やいだ雰囲気になります。ティハールの祭りではカラスの日・犬の日・牛の日などと生き物への感謝と敬愛を表す日が続き、家族の日には家族一同が集まってお互いの健康と長生きを祈ります。

日本でも、お正月と盆には家族が顔を合わせて無事を喜びあうことが年中行事の習慣としてありますが、年々その様な光景は薄らいできているのではないのでしょうか。

ましてや、カラスのために屋上に餌を供えてやるなどとなると論外でしょう。しかし、人も他の生き物も自然とともに生かされているという感謝の気持ちをネパールの人たちはごく当たり前に日々の生活の中に受け止めています。それが、心の豊かさにつながっていることなのかも知れません。



④10月 強風により吹き飛ばされた屋根（レカリ学校）
⑤短期間で修復が済んだ屋根

◆学校の状況

レカリ・バシファント学校では、これまで校長として勤務いただいたジャンマック氏が自己研修のために十月に退職され、後任に英語の授業を担当していたラドウ・ラル・マンダル氏が着任しました。今後も引き続き学校運営委員会と協力して運営に当たっていきます。

近年、日本でも異常気象により竜巻や突風の発生が続いていますが、昨年十月十四日にレカリ校の校舎のトタン葺きの屋根の半分程が強風によって吹き飛ばされる被害を受けました。地形的にも吹き上げる風が比較的強いところですが、今回はこれまでに経験したことのない突風だったようです。

幸いダサインの祭りの時期で学校も休校だったため、生徒や職員たちへの被害はありませんでしたが、修理について、政府への要望やジャイチネパールの努力によって短期間で修復が行われたことにより、現在、生徒たちはいままどどおりに元気に勉学に励んでいます。

カカニ・ブライター学校は、十年生までの学級で二十九人の生徒が学んでいますが、今後の施設の充実として、図書館とスポーツ用具が必要との要望があります。幼少の頃から本に触れることは、情操を育てるためにも世界観を広めるためにも大切な役割を果たしてくれるものです。今後、少しずつでも図書の実践を進め、児童たちが本に親しんでいければと考えています。



▲カカニ農場での果樹苗木の育成の様子

◆実験研修農場に新しい動き

カカニ地区のイチゴ栽培の普及に貢献した農場も、その後遊休化した状態となり活用方法を探っています。その一昨年の菜類の試験栽培が、一昨年の果樹苗木の育成に続いて果樹苗木の育成を模索しています。かんきつ類（みかん、レモンなど）、モモなどを始め、今後ネパールで栽培が可能と見込まれる樹種の試験的栽培を行う計画で、今後の取り組みに注目したいと思います。

◆ジャイチツアーが行われました。

十八回目となるスタディーツアーが七名の皆さんの参加により三年ぶりに行われました。初めて参加された皆さんがほとんどでしたが、異国の文化や風土を肌感じて楽しい旅となりました。

りました。

学校の訪問では、生徒たちからの花の首飾りのお出迎えや民族舞踊による一杯の歓迎セレモニーに、参加された皆さんも感激しきりでした。

なお、今回のツアーにあたっては菊池健介様の多大なご協力をいただき実施できましたことを加筆させていただきます。（参加者の感想文参照）

◆物価の高騰が懸念

日々変化するネパールで、物価の高騰も頭の痛い問題と言えます。ネパール政府が昨年七月中旬に全公務員の給料を十八%プラス手当て一千ルピーの値上げをしたことに伴い他の職種での労働者の給料も値上げの方向にあります。当然、バシファント学校やブライター学校においてもスタッフの給料の引き上げの動きが出てきています。

両校とも自立のことを考えて、なるべく厳しく経費を減らす努力が続けていますが、教育環境の充実や施設の保全にはまだまだ支援が必要と考えています。

皆様のこれまでのご厚情に感謝いたしますとともに、引き続きお力をお貸しいただきますようお願いいたします。

ネパール議会議選挙が行われる

二〇〇八年に行われた議会議構成選挙後、二度にわたって執行できなかった選挙がようやく昨年十一月十九日に行われました。

今回の選挙には、小選挙区に二四〇、比例区に三三五の議席をめざして、一二〇の政党が参加し、投票の結果、小選挙区、比例区を合わせて一九六議席をネパール कांग्रेस党、一七

五議席をUML(マオ・レニン連合)党、八〇議席をネパール共産党(マオ主義)、王主義ラプラ党が二四議席、その他の政党で一〇〇議席となり、これまで第一党であったマオイストが後退しました。

ネパールでは、この選挙による五七五議席に加え、内閣から任命される二六議席の合計六〇一人により、議席を構成していくこととなります。これまでも混乱が続いた



▲議会議選挙が近づき、選挙カーも忙しく走り回っている

議会議選挙でしたが、今回も、ネパール共産党(マオ主義)から別れた共産党(マオ主義)など選挙に反対する政党たちが全国各所でデモや反抗活動を繰り返

バシファント学校に「学校開発計画(SIP)」実施予定

学校開発計画(SIP)とは、ネパール政府が「千年間発展目標」のなかで、皆のための教育を推進するための、学校の経過、地理的条件、自治体の背景、通学区域などの指標に基づいて、現時点の各学校の実態や問題を分析し、学校をどのような設備で備えるか、教育の質を高めるためにどのように学習指導すればよいかを五年間を目標として作られるもので、バシファント学校においても、田舎復興ネパール(NGO)とヘタウダ郡教育局の応援を得て、地元自治体委員、保護者、教員、学

生たちの構成により準備を進めており、二〇一四年四月(新学年より)実施するこの計画がまもなくまとまります。

五年間実施する予定のこの計画は学校全体の質を向上させる目標を果たすため、NGO・INGOと郡教育局の間の関係を効果的に改善し、更に関係者の間で議論していく機会を作ることも期待しています。

また、学校全体の発展のために、学校内部の力を引き出す事についても、現地の保護者、ソーシャルワーカー、教育学者、教師、学生たち関係者の間で一所懸

命議論して作成されました。

SIPは長期的なビジョンを持っていきます。SIPは、クラスごとの生徒たちのプロフィール、能力度、成績、教師たちのプロフィール、S M C、P T A、インフラ設備、教材、財源の使用なども含めた計画です。この計画の評価は基本的に、技術的、財政的に実行可能性があるかによります。

バシファント学校が優秀校としての目的を果たし、地域のモデル校となるために関係の皆様を願っています。現在、学校運営委員会(S M C)では、九、十年生の選択科目のための教室とコンピューター

室の建設費をヘタウダ郡教育局に要求しています。これまで選択科目は食堂を利用していましたが、この建設費の一部についてはジャイチの支援を期待しています。加えて、学校の水源修理のための予算についても予算が必要となります。

から二三五人、様々な非政府組織から二二、五二四人のネパール人が参加し、公正な選挙が行われるよう見守りました。

選挙後、インド、中国、アメリカの外国人観察者からは、横領など不正のない選挙が行われたことを評価し今回の選挙の結果を歓迎していることから、選挙に反抗していた少数派の政党も、今後、憲法制定会議に参加するようになってい

現在、選挙管理委員会は各政党に選挙結果に応じた比例区の代表議員の名簿を出すよう指示し、その名簿に、内閣が任命する二六人を加えた名簿をネパール政府に提出します。政府は提出を受けた新しく選ばれた議員により二一日以内に会議を開くこととなります。

これにより、ようやくネパールの新しい憲法の作成作業が前進すると、国民たちは期待をしています。(ビム・ラル・グルン)



▲ツアー訪問のために生徒達がネパールの踊りを披露してくれた

にあり、当時二四カ国に分かれていた小さな国々をまとめてネパールを統一した王様プリティビナラヤンシヤハが住んでいた所です。また、学生たち自らもカルチャープログラムに取り組みしており、昨秋はジャイチツアーの皆さんが学校を訪問した際に素晴らしい踊りを披露して、来訪された皆さんに大いに喜んでいただきました。

現在、先生たちは学校で図書館を作ること考えて、そのためのインフラと見積書を作っています。建設の計画が進んだところで、ジャイチ・ネパールはジャイチの支援をお願いします。(ビム・ラル・グルン)

恒例のスポーツウィークでは、サッカー、バレー、綱引き、カバディ、幅跳び、高跳び、チェースなど十五種以上の競技を五チー

2013年6月21日〜2013年12月20日迄 順不同敬称略

ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

◆ 人的協力

〈福島県〉

米倉啓示、米倉直美

〈東京都〉

朝倉政雄、尾身嘉一、尾身恭子、鈴木善久、滝和美、田山豊實

〈神奈川県〉

小林みよ子

〈長野県〉

臼井千鶴子、柿島明子、菊池健介、株式会社北澤土建、有限会社佐藤新聞店、有限会社大和印刷、田村由紀子、長野合同経理センター、根岸厚次・真貴子、松久よし子、宮入正法、宮下篤

〈愛知県〉

大川八千代、大川知華

〈海外〉

ネパール ホテルサンセツトビユー・アルジュン・シン／絃子・トラチャン

◆ 基金・維持費・事業費

〈北海道〉

小野倫夫、中川洋子、服部昌男、山口斌

〈岩手県〉

向井田薫、向井田コウ

〈宮城県〉

森甲志

〈福島県〉

岡村健、米倉啓示・直美

〈茨城県〉

魚津慶子、折本拓郎、藤井英雄

〈栃木県〉

森聖哉

〈群馬県〉

橋眞智子、堀越利通、割田甚一

〈埼玉県〉

小野美津男、斉藤節子、嶋田信子、坪田美恵子、中野京、本庄東高等学校

〈千葉県〉

浅井邦彦・俱子、専念寺岡本學、辺見益蔵、武藤貴子

〈東京都〉

朝倉政雄、大田原房子、岡田信一、小川金三郎、尾身嘉一・恭子、鎌倉恵子、河野節子、黒田秀基、木村慈子、須藤節子、滝和美、成宮博、西岡巖、西重正博、野村明賢、中川彰、正田英子、松田重賢

〈神奈川県〉

小林みよ子、十河三郎、櫻井道子・小山佐都子

〈長野県〉

株式会社アオヤギ印刷青柳



「薪を集める西ネパールタール女性」 絵 マン

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができます。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

ジャイチの基本的財源として

皆様よりいただいた寄附金を、ジャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。

その中より余剰資金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れいたします。基金は、ジャイチの財源を安定させ、ジャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。

①所得控除

その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が総所得金額等、退職、所得金額又は山林所得金額より控除できます。

②税額控除

その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額の40%が所得税額から控除されます。

上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。

(税法の改正等がありますので、詳細は税務署にお問い合わせください。)

郵便振替・銀行振込での募金

- お振込先
- 郵便振替 00510-4-65434
- 銀行振込 八十二銀行 丸子支店 (普)420577
- 口座名 公益財団法人 日本農業研修場協力団

ネパールの旅に 参加して 子供達の笑顔は 素晴らしい

大川八千代

丁度、町や村には家や牛、犬に花を飾り、親や兄弟に感謝の意をお祝いするお祭りに遭遇。家々を踊り歩く着飾った娘さん達皆さん生き生きしていてとても楽しそうでした。

学校もお祭りでお休みのところ、私たちのためにわざわざ登校していただき素敵な踊りを披露してください感謝です。きつと皆さん

一生懸命練習されたことでしよう。本当にありがとうございました。

授業の様子も見せていただき、皆さん素晴らしい夢に向かって頑張る姿が目には素晴らしい！雄大なネパールの山々の自然を大切に守っていつてくれる大人になってほしいと思います。

日本の子供たちはちょっと贅沢すぎ、わがままで物があふれ有り難さを忘れていきます。日本の大人も同じかも知れません。どこか歯車がかみ合わない時代になっています。やがてはネパールも車、プラスチック

ク、ビニールのゴミの山になっていくのでしょうか。そんな日本のようになって欲しくありません。今回、ジャイチの丸山様そしてKC様お世話になりました。楽しい思い出を有り難うございました。(愛知県刈谷市)



▲ルンビエへの中途 昼食をとった店の裏で、ロキシの作り方を見せてもらう

順一郎、大久保千昭、奥野恵子、越知富夫、小山田秀士、金井善男、金子元昭、菊池健介、北澤純一、久保田寛人、黒沢勇人、高本洋子、小林淳、小林展子、小林計正、国際交流フェスティバル in SAKU、国際交流フェスティバル in MARUKO、坂井崇浩、恒子、澤山啓司、高野知久、武田順治、豊田きよ子、株式会社長門牧場代表取締役小林久雄、長野県連合青果株式会社、中澤知史、中村彰、箱山年子、舟木公栄、牧幸男、松久よし子、宮澤令行、宮下静子、増田シゲミ、松川勝三、山越好彦、ジャイチ事務所寄付金箱

〔新潟県〕
 帯瀬憲五、小森修
 〔福井県〕
 上田輝司
 〔静岡県〕
 伊熊武夫、宇佐美慶一
 〔愛知県〕
 伊藤正裕、大川八千代・知華、尾上昇、神田孝子、本庄周子、安田美奈子
 〔滋賀県〕
 大森敦之、岡田千尋
 〔大阪府〕
 北岡満
 〔兵庫県〕
 新海泉
 〔和歌山県〕

中前孝啓
 〔福岡県〕
 山下きよし
 〔熊本県〕
 藤坂比呂美
 〔鹿児島県〕
 福吉巧
 〔ジャイチネパールへ直接〕
 大川八千代

◆寄附品
 〔北海道〕
 菊池隆司
 〔岩手県〕
 松本沙弓
 〔福島県〕
 岡村健
 〔茨城県〕
 神村和子
 〔群馬県〕
 堀越利通
 〔埼玉県〕
 嶋田信子
 〔千葉県〕
 青木洋
 〔東京都〕
 株式会社イメージブレイン
 千原卓司、小川昌子、棧康子、鎌倉恵子、野村建設工業株式会社東京営業部営業課、山縣敏子、山田まゆみ、吉田赫子
 〔神奈川県〕
 上村陽子、川口朗子、小林みよ子、鈴木貴久子、堀内フサ子
 〔長野県〕
 あーすの会、白井千鶴子、

有限会社美ヶ原燃料、柿島明子、加藤美幸、菊池健介、清住栄子、小林久雄、有限会社大和印刷、田村由紀子、永井キチ代、舟木公栄、堀邦昌、松久よし子、依田窪南部中学校ボランティア委員会
 〔静岡県〕
 石井泰子
 〔愛知県〕
 創造性教室代表坂部正登
 〔滋賀県〕
 苗村善和
 〔兵庫県〕
 丸尾信
 〔福岡県〕
 坂本ふみ
 〔鹿児島県〕
 小田原孝之
 〔ジャイチネパールへ直接〕
 尾身嘉一・恭子、小山恵美子
 ありがとうございました。今後とも宜しくお願いいたします。



▲ナガルコットで昼食中、民族楽器のサーランギを奏でて「上を向いて歩こう」を歌ってくれるのを楽しむ朝倉さん

ジャイチのツアーとネパールのビール

朝倉政雄

今年、ネパールのツアーはやれそうだよと菊池さんから電話があり、間もなく旅行社から旅の資料が送られてきた。ネパールは初めてなので、旅への期待と不安が入り混じる。十月の中ごろ、地元中学校の公開授業の中で、一年生の道徳の授業に「ネパールのビール」が教材として取り上げられていた。偶然とはいえ驚いた。

「ネパールのビール」は吉田直哉さんのエッセイで一九九一年度のベスト・エッセイ集に選ばれた作品である。吉田さんが撮影のためにネパールのドラカという村に十日間滞在した時のできごとである。当時の村への道は、車はいっさい使えないので必要最小限の機材や食料に絞り込まれた。真っ先にあきらめたのはビールであった。

大汗かいて一日の撮影が終わった時、眼の前の清冽

な小川の流れを見て、これぞビールを冷やして飲んでらうまいだろうなあ」と。ビールが欲しいのなら、ぼくが買ってきてあげる」と村の青年チェトリ君が、大人の足でも一時間半もかかるチャリコットまで行き、五本買ってきてくれた。次の日の昼過ぎ、チェトリ君が「きょうはビールいらないの？きょうは土曜日でもう学校はないし、あしたは休みだし」という事で大きなザックと一ダース分のお金を渡して頼んだ。しかし夜になっても、あくる日になっても、翌日の月曜日になっても帰ってこない。学校へ行って先生に謝ると先生は、「それだけの大金をもったのだから、逃げたのだらう」と言うのである。吉田さんは、子供の一生を狂わせたと言わざるほど後悔した。

ところが、三日目の深夜、宿舎の戸が激しくノックされた。そこにはチェトリ君が泥まみれでヨレヨレの恰好で立っていた。チェリコットには三本しかビールがなかったもので、山を四つ越した別の峠まで行ったのであった。合計十本買ったが、ころんで三本割ってしまった、とペソをかきながらその破片を全部見せ釣

て、私は泣いた。近ごろあんなに泣いたことはない。そしてあんなに深く反省したこともない。という内容である。

私が見た今のネパールの山間部の農村はオートバイやバス（屋根まで人が乗っている）が通い、生活必需品は買うことができ、テレビやインターネットもお金さえ出せば手に入る。しかし、農村の生活をまのあたりにして見ると、急な斜面に建つ家、まわりの傾斜地を巧みに利用して、にわとり、やぎ、ひつじ、水牛、豚などの家畜を飼い、野菜畑やその外側に広がる段々畑での自給自足の日々の暮らしは、基本的には吉田さんのエッセイとそう変わっていないように感じられた。

私たちが訪れた二つの学校では、先生や生徒さんの温かい熱烈歓迎を受け、感激した。生徒さんの中には、二時間かけて学校に来る子もあり、その努力と勤勉さに驚いた。明るい笑顔、白い歯、澄んだ瞳の子どもたち、しっかりと勉強して将来幸せになってほしいと、願わざるにはいられません。JAITIのみならず、本当にありがとうございました。

（東京都八王子市）

ネパールの旅

米倉直美



▲ジャイチツアー マウンテンフライトの最大の見どころ、エベレストが眼前に迫る (2013.11.8)

世界の屋根エベレストを始めとするヒマラヤ山脈の雪山をイメージして寒いのではないかと思つてました、訪れたところは桜の花が咲き、菜の花畑、そしてマリーゴールド、ブーゲンビリア、ネパールの赤い花など数々の花が咲き乱れ、バナナ、ミカンなどが実つてまるで日本の春を思わせるような気候でした。

カトマンズの街は沢山の人が、犬や牛も一緒にとて

も賑やか、カラフルなトラックが土埃をあげていました。

丁度、十一月一日からお祭り、今日は犬の日、犬にもマリーゴールドの花輪を掛け、ネパールの人々の心の優しさとのんびりおらかな人柄に今の日本にはない心のゆとりと暖かさを感じました。

レカリ・バシファント学校では生徒達がマリーゴールドの花輪を幾重にも掛けて歓迎してくださいました。次の日、カカニの農場を見学し、ブライター学校では可愛い大勢の子供達、そして生徒達が民族舞踊を見せてくれました。みんな大きな夢を持って勉強しているようです。しかし日本も同様ですが将来農業をやりたいと言う生徒は一人もいませんでした。

瑞穂の国といわれる日本でも、この先農業を担う人たちがどれだけののかとても不安ですが、ネパールも祖先が永々と厳しい巨大な急斜面に築き上げてきた美しい棚田や畑をこれからの子供達がはたしてどれだけ受け継いでいくのか心配になりました。

ネパールは農業国だそうですが、森林の国有化、国立公園法、内乱などで山間地域で生活ができなくなつた人々、また携帯電話やインターネットが山村にまで普及し、都会生活への憧れと収入を得るために生活の当てもなく集まる人々、その膨れあがる人口で交通渋滞、ゴミ処理問題、水道、電力不足等で都市機能がパンクしそうな感じがしました。

ツアーの皆さんと別れた翌日はグリーンバスでポカラへ。老舗のドラゴンホテルに宿泊し、部屋からはヒマラヤ山脈が窓いっぱい広がり絶景でした。しかし翌日から選挙前の全国一斉ゼネストが始まり交通機関は全部ストップしたため、すべて歩く事になり、ポカラから吊り橋を渡り山頂にある日本山妙法寺までトレッキングし、フェワ湖、ヒマラヤ山脈を眺望して山の向こう側のドラゴンホテルのオーナーの第一農場へ。そこはネパール人一家が管理し、棚田、段々畑では米・稗・野菜各種・果樹はマンゴー・コーヒ・日本からの果樹各種を栽培し、鶏・ヤギ・牛などの飼育が成されていました。

翌日は出発後、運良くタクシールが見つかり、ジョムソン街道を北上してノーダラ峠の少し手前から山に入った別の農場へ行きました。

ここは標高一四〇〇mの山岳地帯で傾斜地は重機で整地

し、茅葺きのレストラン・竹作りのゲストハウス・巨大なパン窯が作られています。畑ではトマト・レタス・サラダ菜など数種類の野菜を近隣の人たちを雇い有機無農薬が行われています。付近の山林は荒廃した棚田の跡がたくさん点在して山岳部の離農が進んでいるように見えました。

ネパールの棚田では二期作目のお米の収穫作業があちこちで見受けられました。脱粒しやすい品種のためか、刈り取り後束ねずに地干ししてシートの上で人力で叩きつけて脱穀をしていました。鎌一丁での作業、すべてが手作業で大変そうですがその分は手元に

残ります。運搬は木と竹で編んだカゴで、日本のタンガラとよく似たものを背負い、農作物から堆肥・砂利までなんでも担いでいました。原始的ですがその事が自然と共存し永く人類の歴史が続いてきた要因だと思います。

丁度祭りの最中に竹を櫓状に組んでブランコが作られていました。大きな株になつた竹が方々にあり、よく利用され、タケノコの漬物・ザル・カゴなどの生活用品、建設資材、建設現場の足場パイプには殆ど竹が使われ、そして最後は薪として役立っていました。

どこに行っても町には人が溢れ、路上や民家の前には人々が屯して、みんなゆつたり暮らしているように見えました。

雲一つない青空にそびえる美しいマチャプチャレ・アンナプルナ山脈の雪山を眺めながら、考えさせられる事の多いネパールの旅でした。

末筆になりましたが、お世話になりましたジャイチの皆様、同行の皆様には厚くお礼申し上げます。

(福島県郡山市)



▲バシファント学校の生徒達がマリーゴールドの首飾りで歓迎してくれた(前列右2人目米倉さん)

「米倉さんご夫妻はツアー終了後一週間ネパールに滞在し農業事情を観察しました。」



▲10/12国際交流フェスティバルin Marukoに参加

これまでの
ご支援に
感謝します。

依田窪南部中学校、丸子北中学校(ともに長野県上田市)のボランティア部の皆さんは、長い間、卒業により使用しなくなった学生カバンを集めて、ネパールの学校の生徒たちのために使って欲しいとJAITIの事務所に届けてくれました。

JAITIでは、このカ

バンをバシファント学校の高学年の生徒たちに送って通学カバンとして利用してもらっていましたが、開校当時から見ると年々物資も豊富になり、自分たちの手で調達できるものは自分たちが努力していきたいとの保護者の意向もあり、今後、学生カバンを送ることについては見合わせることにしました。

このカバン一つを取ってみても、ネパールの人たちが自立に向けて一歩でも踏み出していくことは、これまでの大勢の皆さんのご支援の賜ではないかと考えます。

両校のボランティアに關わっていただいた生徒さん、関係者の皆さんには長年に亘ってご支援いただきましたことに心より感謝申し上げます。

お願い

ネパールへのジャイチの荷物運搬(主に学校の布カバン・文房具)のお手伝いをしてくださる方は非ご連絡下さい。

事務局だより

▼ジャイチ

- 7月 ・ 機関紙45号の作業と発送(約1300通)
- 8月 ・ 依田窪南部中学校よりランドセル22寄附される
- 9月 ・ 国際交流フェスティバル in Maruko参加団体会議に出席
・ 国際交流フェスティバル in Saku参加団体会議に出席
・ ジャイチツアー関係手配・準備
- 10月 ・ 国際交流フェスティバル in Maruko参加
・ 国際交流フェスティバル in Saku参加
- 11月 ・ 第18回ジャイチツアー実施7名の参加
- 12月 ・ 機関紙46号企画・編集
・ 理事会 平成25年度上半期事業報告

▼ジャイチネパール▼

- 7月 ・ 1学期定期試験実施
・ 両学校夏休みに入る。
・ 事務所新会計士雇用
- 8月 ・ レカリ・バシファント学校のオープンサッカークー試合。
・ SLC追加試験1名合格
・ プライター学校の9・10年生用備品調達
・ ジャイチツアーの予算等の報告
・ ネパール政府が公務員の給料を18%+1000Rs値上げ
- 9月 ・ 郡の教育監督者2名プライター学校訪問
・ ネパール農業研究所がカカニ農場で菜類及び果実の研究栽培を継続
- 10月 ・ 5日から19日までダサイン休暇
・ レカリ学校、暴風の被害を受けトタン屋根が破損のため修理
・ 事務所弁護士にウマ・シャルマ氏新雇用
・ ダサインとティハール祭休暇
- 11月 ・ 学校 クイズ・スペルコンテスト、二学期試験実施
・ 郡教育署の指導で学校開発計画作成(バシファント学校)
・ 9・10年生社会勉強でマッコト王宮見学(プライター学校)
・ ジャイチツアー案内
・ バンダ多発・議会選挙実施
- 12月 ・ 計画停電週63時間

バザーをありがとうございました。

- ・ 国際交流フェスティバル in Maruko(長野県上田市)
- ・ 国際交流フェスティバル in Saku(長野県佐久市)



▲街角で若者達が歌や踊りで過ごす、ティハールの祭り

募集予告

第十九回

「JAITIネパールの農場と学校訪問の旅」

◆日程 十一月初旬

八泊十日の予定

◆旅行代金

お一人様

二十八万円を予定

◆最小催行人員 十名

◆お問い合わせ

ジャイチ事務局まで

TEL ○二六八八五二三四六五

FAX ○二六八八五二三五八三

物故者のお知らせ

ご冥福をお祈りしますと共に今までのご支援に感謝いたします。

内田 賢一様 長野県長和町 十三年四月

佐々木謙一様 神奈川県横浜市 十三年七月

村越 寿子様 長野県上田市 十二年九月

小川 敏市様 東京都文京区 十二年九月

安田 晴彦様 東京都小金井市 十三年十月

坂田みき子様 長野県上田市 十二年十一月

滝 銈一郎様 愛知県小牧市 十二年十二月

四十五号記載の物故者で、佐野伸様の住所は、新潟県魚沼市でした。訂正してお詫びします。

集めています

寄付品		使 途
毛糸	帽子を編みます	レカリ・バシファント学校1・2年生用バザー出品用
	編みぐるみ・タワシなど	
布	通学カバンを縫います	レカリ・バシファント学校低学年用
書き損じハガキ	切手に替えます(未使用ハガキ・年賀ハガキの余りも歓迎)	通信費として活用します。
古切手	換金します(未使用切手も歓迎)	維持費へ(切手の周りを5ミリ残してください)
手ぬぐい	新品	ネパールの学校用ほか

編集後記

日本は今が一年で最も寒い時期となり、ついに口に出るのが「寒いですね。」
昨年は、晩秋まで「暑い、暑い」と閉口していたことを思うと、人間は我が儘なものです。
凍てつく水面に立つ水鳥や、寒風の中を素足で歩く動物たちに比べたら、まだまだ増しだと思ってもみたりしますが、やっぱり「さびいな。」
ネパールでは裸足での生活を未だに目にしますが、徐々にサングル或いはシューズに変わっていくことでしょう。衛生的には良いことですが、土の感触と季節感はい失いたくないものです。